

# ときわぎ 学校評価臨時号

平成29年10月18日  
京都市立常磐野小学校  
校長 山口 淳

## 【学校教育目標】

「自ら学び 心豊かにたくましく生き 夢かなえる子の育成」

## 【目指す子ども像】

と 友だちを大切にする子  
き きまりを守る子  
わ わかった、できたを目指す子  
の のびのびと元気な子



## 【目指す学校像】

- ◎夢かなえる学校
- わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- 自分が認められ、安心して生活できる学校
- 信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- 家庭・地域と協働して教育活動を進める学校

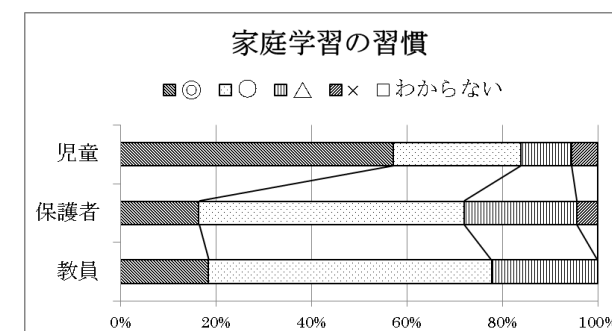
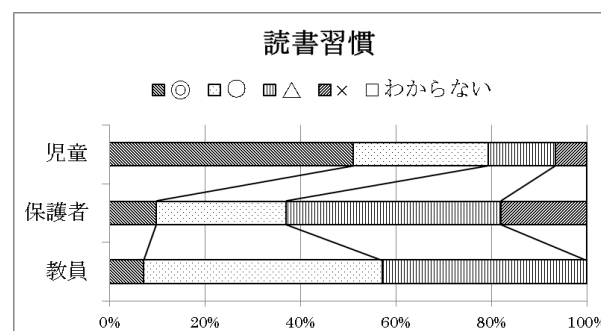
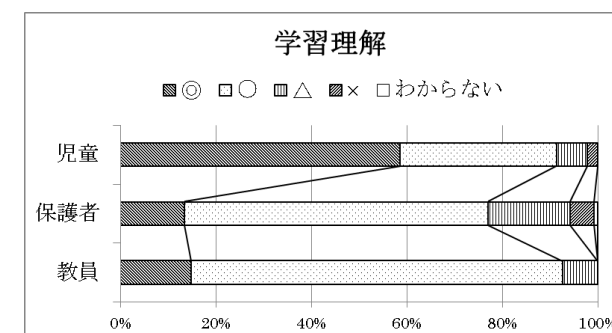
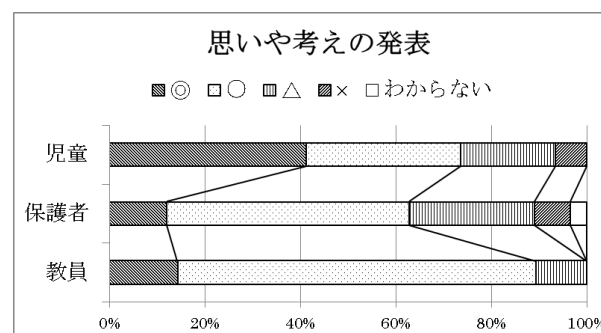
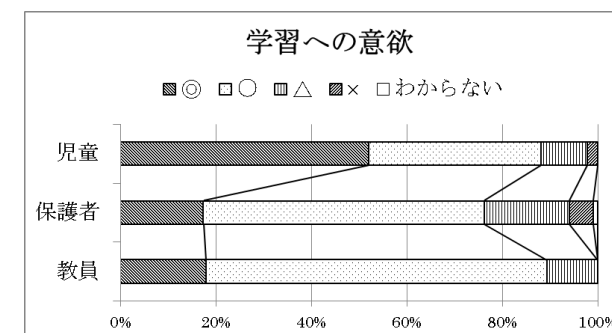
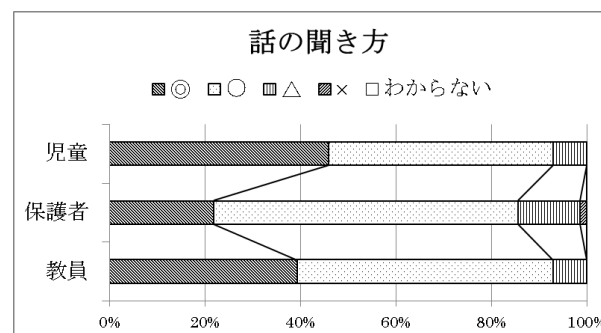


学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。常磐野小学校では、毎年2回、保護者の皆様・児童・教員による「学校評価アンケート」を実施しています。第1回（前期）学校評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

今年度も昨年度に引き続き、保護者の方には主にご家庭での働きかけ（一部は適合度やお子様の実現度）をご回答いただきました。また、児童は自分自身の振り返りを、教員は自分自身がどれだけの指導をしているかの振り返りを行いました。保護者の皆様から頂きましたアンケートや児童・教員によるアンケートをもとに、本校の取組やこれからの子育てについて、学校教育目標の目指す子ども像や目指す学校像の視点から考察を行いました。

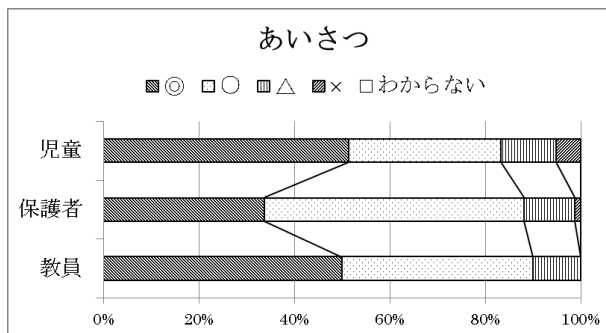
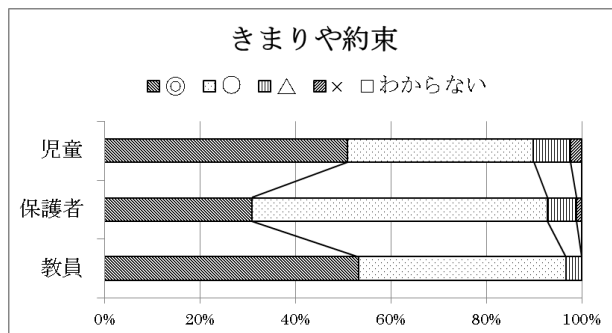
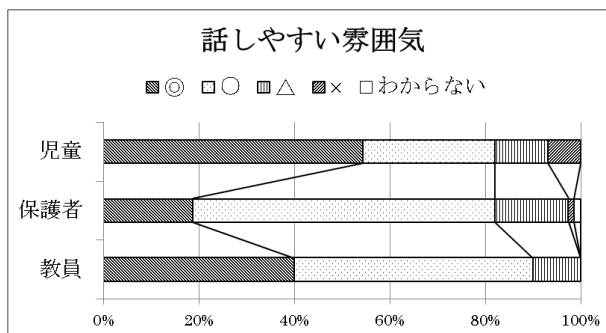
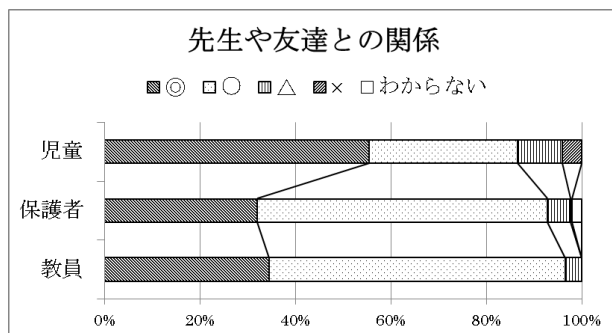
グラフについては、全て棒の左から◎（よくできている）、○（大体できている）、△（あまりできていない）、×（できていない）の評価で表しています。

## 確かな学力の育成について



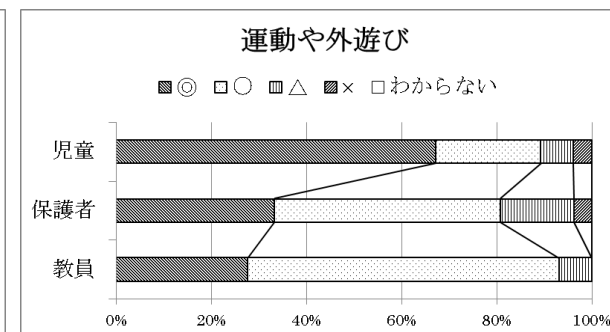
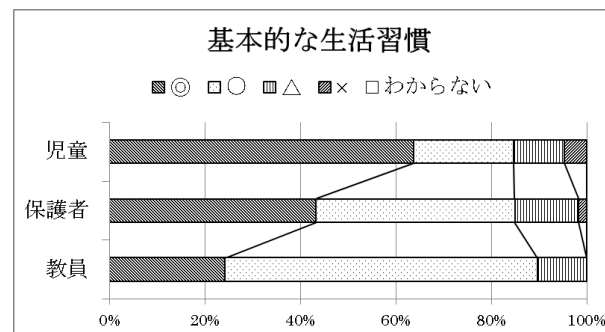
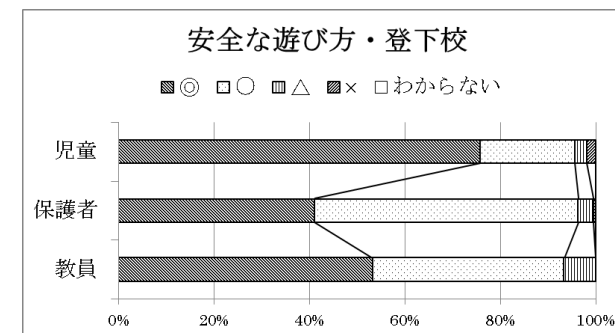
「思いや考えの発表」「読書習慣」を除いた4項目については、いずれも8割以上の児童がプラス評価をしています。特に、「話の聞き方」については、約93%の児童が「先生や友達の話をよく聞いている・だいたい聞いている」と回答しています。人の話を聞くことは学習の基本であり、学力向上のために必要不可欠なことです。今後も、学習規律の徹底や授業実践の工夫を行うことで、児童の聞く姿勢がさらに向上するよう取り組んでいきたいと考えています。「読書習慣」に関しては、他の項目と比べて児童・保護者・教員とも低い結果となりました。しかしながら、児童のプラス評価は昨年度同時期と比べて増加しています（H28前期：75.4%，後期：73.0%，H29前期：79.4%）。これは、図書ボランティアの方による読み聞かせや図書館の整備、図書委員会による読書週間のイベント、ご家庭での取組などによるものと思われます。学校では、7月に選書会を実施しました。今後も、引き続き児童の読書への関心を高める取組の充実を図っていききたいと考えています。「思いや考えの発表」に関しては、プラス評価をした児童が約74%と最も低い結果となりました。本校の目指す子ども像の一つに「のびのびと元気な子」があります。児童がのびのびと自分の思いや考えを発表できるよう、日々の授業のさらなる充実を図ったり、安心して発表できる人間関係作りを行ったりしていきたいと考えています。

## 豊かな心の育成について



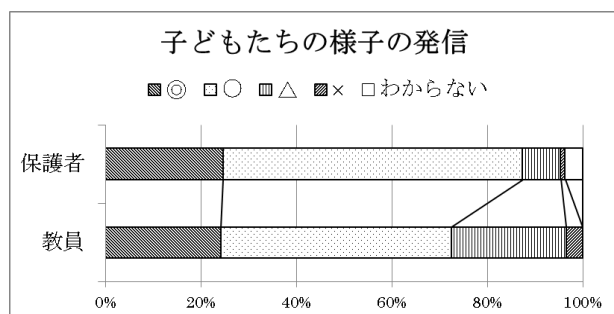
全ての項目において、8割以上の児童がプラス評価をしています。特に、「きまりや約束」については、約9割の児童がプラス評価をしています。保護者アンケートでも、約93%の方がプラス評価をされていました。多くの児童がプラス評価をしたのは、ご家庭でお子さんに働きかけてくださったたり、学校でもきまりを守る指導を徹底して行ったりしている結果だと思われます。しかしながら、約1割の児童はマイナス評価をしています。「きまりを守る子」の実現に向け、今後も引き続き学校や学級のきまりを守る指導を行っていきたいと考えています。「あいさつ」に関しては、昨年度より重点項目として本校では指導してきました。少しずつではありますが、児童のあいさつの様子に改善が見られてきています。今年度は、あいさつ名人として具体的な姿を児童に提示しています。よりよいあいさつを児童ができるよう取組を推進していきたいと考えています。

## 健やかな体の育成について



全ての項目において、児童・保護者の方・教員とも8割以上のプラス評価となりました。特に、児童の評価については、どの項目も僅かではありますが昨年度よりもプラス評価が増加しています。「健康」は夢や希望にチャレンジする際に最も基本となる資源です。「健康」であって初めて、児童は自己実現をはかり、夢をかなえることができます。健やかな体を育成できるように、学校での取組や家庭との連携をさらに進めていきたいと考えています。また、「安全な遊び方・登下校」に関しては、昨年度同様、評価が非常に高い結果となり大変うれしく思っています。常磐野パトロール隊や地域の方々、保護者の方々、教員がそれぞれの立場で適切に児童に働きかけている結果だと思っています。特に、児童の登下校を見守ってくださる常磐野パトロール隊や地域の方々には大変感謝しております。今後も児童の安全のためにご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 児童の様子発信について



一方で、「ホームページの更新が学年によりバラつきが多い。」というご意見も頂きました。今後は、より児童の様子を保護者の方にお伝えできるよう学校全体で取り組んでいきたいと考えています。

保護者の方からは、「学校のホームページで各学年の様子やどんなことをしているのか知ることができるので、とてもよいと思います。」など肯定的な意見を頂きました。しかしながら、

常磐野小学校学校運営協議会第2回理事会を10月13日（金）に開催しました。今回は、前期の教育活動を振り返るとともに、全国学力・学習状況調査や学校評価アンケートの結果とその分析について学校から説明し、理事会の皆様から次のようなご意見をいただきました。

- 一つ一つのルールについて、そのルールが設けられている意図が分かるように指導していくことが大切である。
- マイナスの評価をしていますが、児童が「次頑張ろう。」「自分はこうなりたい。」と思えるようにしていくことが大切である。そうすることが、児童が活き活きと生きていくことにつながると思う。
- 児童は、それぞれの環境の中で精一杯生きている。その環境の中で、児童が「生きることが楽しい。」「人と関わることが好きだ。」と思えるように育てることが大事だと思う。
- 朝食を食べていない児童については、その理由を分析することが必要だと思う。それぞれの事情を知ったうえで、適切に対応することが大切ではないか。

頂いたご意見を今後の教育活動に活かし取り組んでまいります。